テレコントロールスイッチ
XWシリーズ
取扱説明書
＜基本編＞

Ver1.20 AE0AA4

＜目次＞

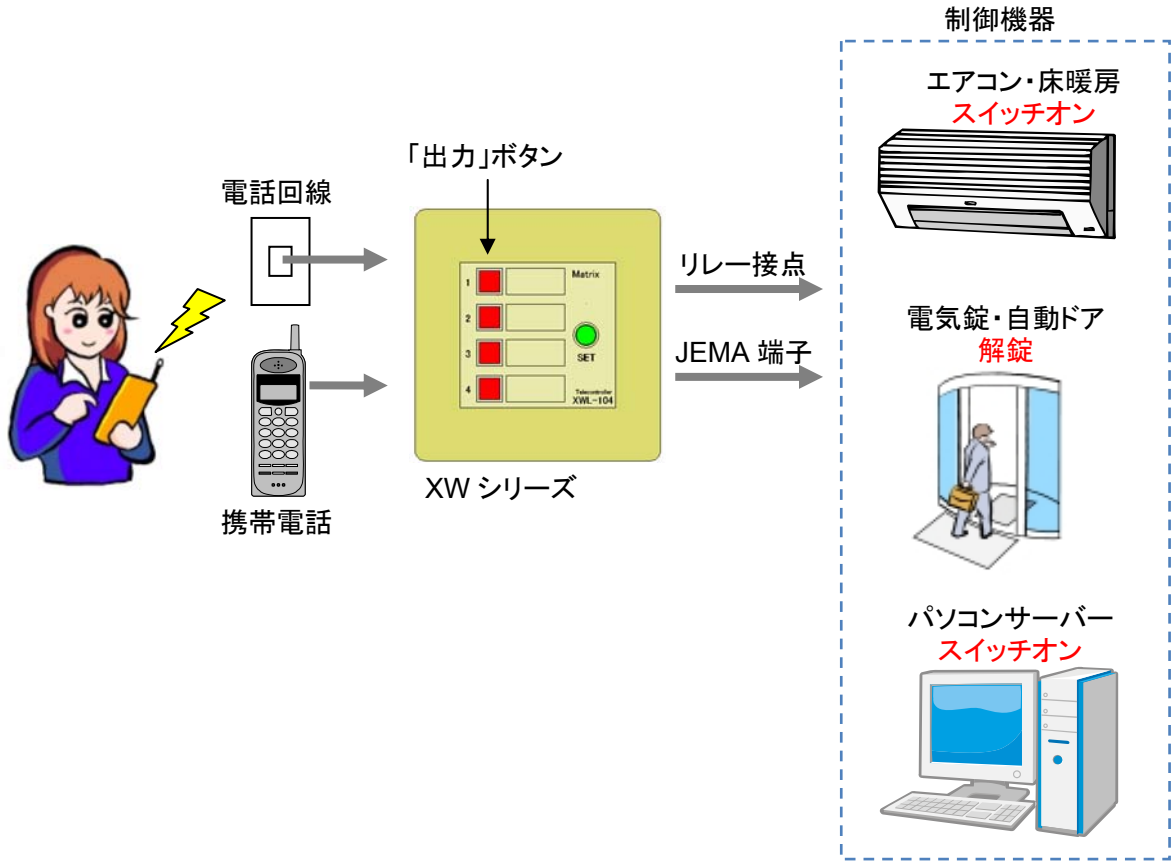
1. 主な特徴 4
2. 型番の構成 5
3. 各部の名称 6
4. 付属品 7
5. 本装置の接続 7
6. 本装置の操作 10
7. 携帯電話で着信する場合の設定 11
8. 遠隔操作方法 11
9. 制御機器の出力を制御する 12
9-1. 制御機器の状態を確認する 12
9-2. 制御機器の出力をオフする 12
9-3. 制御機器の出力をオンする 13
10. 解錠番号を使って制御機器の出力をオンする 13
11. 設定方法 14
11-1. オンライン設定の開始 14
11-2. パスワードの設定 15
11-3. 呼び出し時間の設定 15
11-4. リトライ呼び出し機能の設定 15
11-5. ラインモニタ機能の設定 16
11-6. 出力オン後に自動的にオフするまでの時間を設定 16
11-7. 出力オフ後に自動的にオンするまでの時間を設定 16
11-8. 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定 17
11-9. 音声ガイダンスの変更 18
11-10. 音声ガイダンス遅延時間の設定 18
11-11. JEMA 端子の設定 18
11-12. 解錠番号の登録 19
11-13. 全ての設定を初期化する 19
12. サービスコード一覧 20
12-1. 制御項目一覧 20
12-2. 設定項目一覧 20
13. 電話機を併設する場合の設定 22
14. FAX や留守番電話を併設する場合の設定 22

15. 携帯電話での制御.....23
15-1. 便利な機能.....23
15-2. 注意点.....23
16. JEMA 機能.....24
17. 仕様一覧.....25
18. 使用上の注意.....25

1.　主な特徴

テレコントロールスイッチ XW シリーズは、本装置に接続したエアコンや床暖房などの制御機器を、電話回線を通して遠隔操作できるスイッチです。

この取扱説明書においては、「テレコントロールスイッチ XW シリーズ」を「本装置」、エアコン、床暖房、電気錠、自動ドア等を「制御機器」と表記しています。あらかじめご了承ください。



- 本装置のリレー接点に、遠隔操作するエアコン、床暖房等（制御機器）を接続します。
  出力ボタンを押すと、制御機器の出力のオン・オフが可能となります。
  本装置に電話を掛けて、音声ガイダンスに従って行う遠隔操作でも、制御機器の出力のオン・オフが可能です。
  制御機器の出力がオンされると出力ボタンが点灯します。

- 制御機器が 5 台以上となる場合は、別売の拡張スイッチ（XSB-103）をつなげて最大 16 台まで制御する事ができます。

- 本装置を遠隔操作するには、電話回線が必要となります。
  電話機や FAX と併設できますので、既に電話回線が引かれている場合は、新たに電話回線を準備する必要はありません
  電話回線の代わりに、本装置に着信用の携帯電話を接続して制御する事もできます。

- JEMA 端子（HA 端子）を有する機器を制御する事ができます。

- 遠隔操作で、制御機器の状態を確認する事ができます。（JEMA 端子、センサ入力に接続している機器のみ対応）

- 本装置の電源が切れても、制御機器の出力のオン・オフの状態を記憶しています。
  再起動すると、自動的に本装置の電源が切れた時の状態に戻ります。（JEMA 端子は未対応）

- XW シリーズには、その他に下記の商品があります。

  - **受付電話機能<型番：XWO-101>**
    本装置に受付電話機と、自動ドアまたは電気錠を接続し、受付電話機で訪問先の電話番号が押されるとダイヤルして通話が可能。
    通話中に、訪問先の電話機で[*]が押されると自動ドア・電気錠が解錠する。

  - **マンション用解錠機能<型番：XWM-101>**
    本装置に受付電話機と、自動ドアまたは電気錠を接続し、受付電話機で訪問先の室番号が押されると、室番号毎に登録された電話番号にダイヤルして通話が可能。
    通話中に、訪問先の電話機で[*]が押されると自動ドア・電気錠が解錠する。

  - **IC カードリーダー機能<CARD>**
    本装置にICカードの読み込み装置（ICカードリーダー）と、自動ドアまたは電気錠を接続し、IC カードをかざすと自動ドア・電気錠が解錠する。

  これらの製品の操作方法は、この取扱説明書＜基本編＞と合わせて、各機能用の取扱説明書もご覧ください。
  尚、**IC カードリーダー機能**は、**受付電話機能**や、**マンション用解錠機能**と合わせて使用する事もできます。

2. 型番の構成

XW シリーズは、対応している機能によって型番を表記しています。
制御機器の台数が 1 台　：XWL-101
　　XWO-101（受付電話機能）
　　XWM-101（マンション用解錠機能）
　　※受付電話機能やマンション用解錠機能の場合は、この取扱説明書の XWL-101 の説明を参照して下さい。
制御機器の台数が 4 台　：XWL-104

下記の機能に対応している場合は追加番号が付きます。

携帯着信（ドコモ・ソフトバンク）　：H1

携帯着信（平型端子）　　：H2

JEMA 端子対応　　：J

（例）XWL－101　　：制御機器 1 台（電話回線で着信）

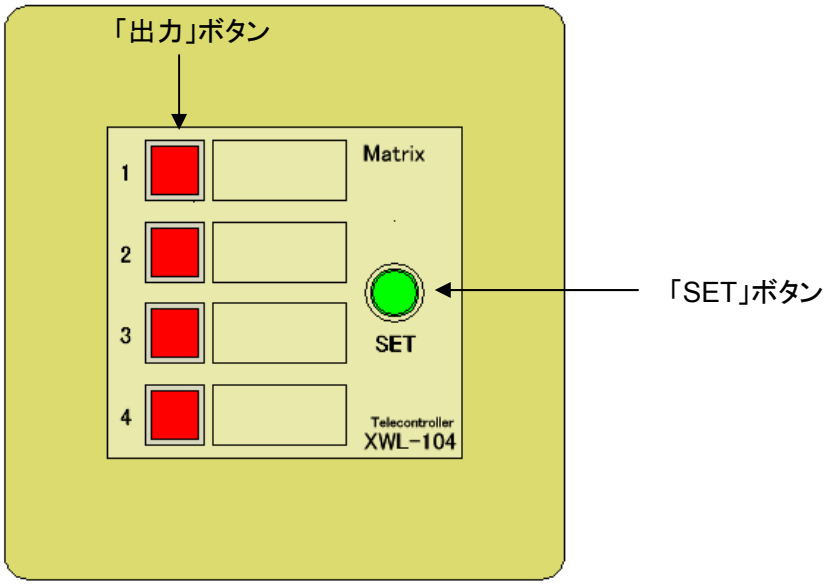
XWL－104　　：制御機器 4 台（電話回線で着信）

XWL－104H1　：制御機器 4 台＆携帯着信（ドコモ・ソフトバンク）

XWL－104H2J　：制御機器 4 台＆携帯着信（平型端子）＆JEMA 端子

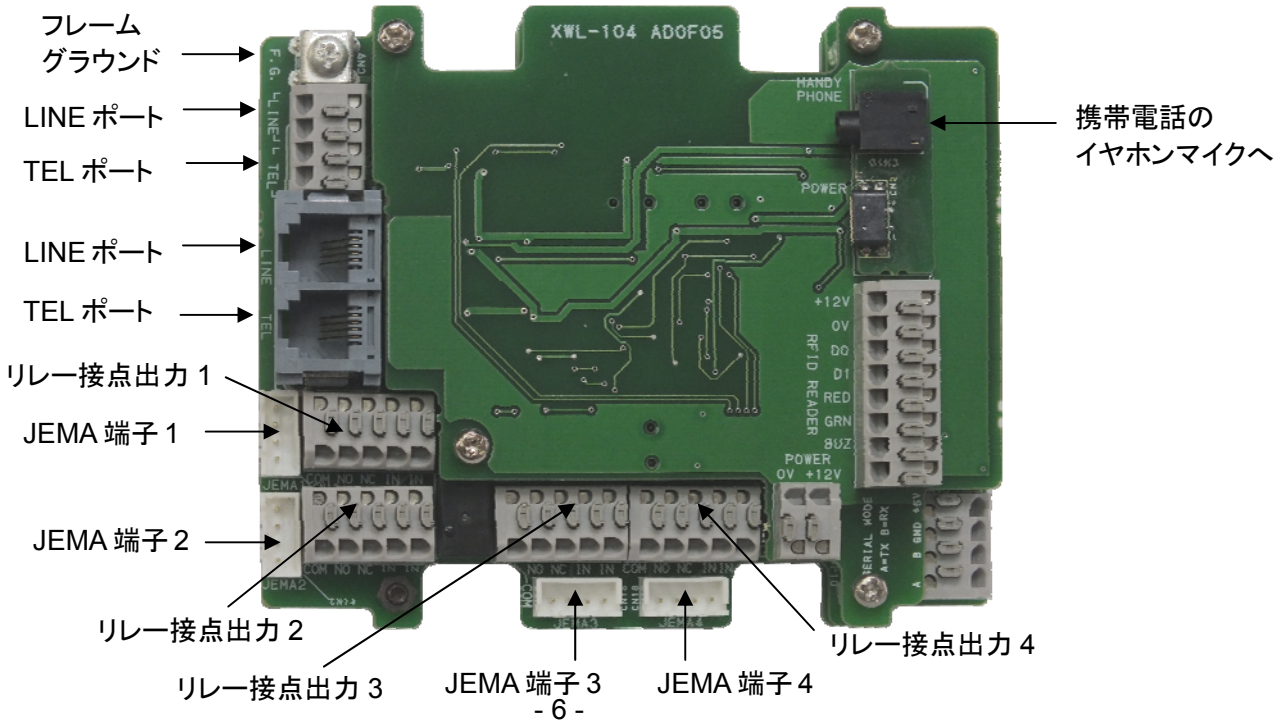
3.　各部の名称

前面



型番：XWL-101 には、「2」「3」「4」ボタンは配置されていません。

背面



4.　付属品

付属品としては以下のものが同梱されています。ご確認下さい。

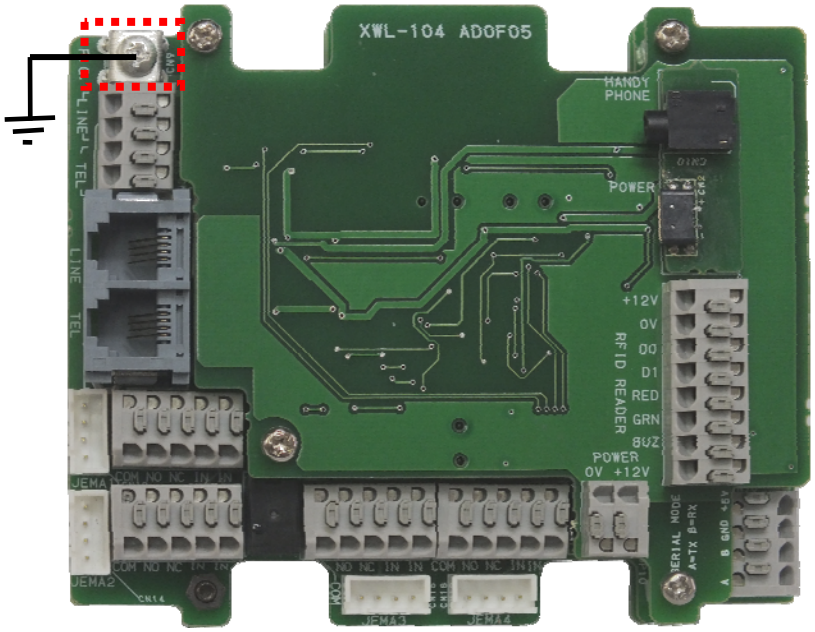
- XW シリーズ装置本体　　1台
- モジュラーケーブル　　1本
- 取扱説明書＜基本編＞　　1 冊（本誌）

機能によって、下記の付属品も同梱されています。

- 携帯電話イヤホンマイク接続用ケーブル　　1 本（携帯着信のみ）
- JEMA 接続用ケーブル　　本数は要望による（JEMA 端子のみ）
- 取扱説明書＜受付電話機能編＞　　1 冊（受付電話機能のみ）
- 取扱説明書＜マンション用解錠機能編＞　　1 冊（マンション用解錠機能のみ）
- 取扱説明書＜CARD 編＞　　1 冊（IC カードリーダー機能のみ）

5.　本装置の接続

① FG（フレームグラウンド）は大地に対して低い抵抗で接地してください。

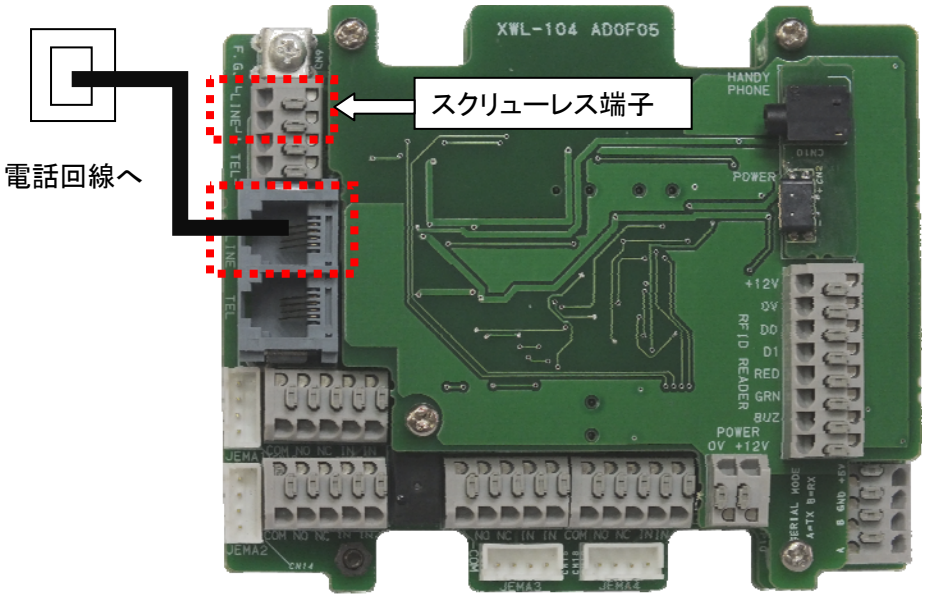


② 電話回線へ接続して着信する場合と、着信用携帯電話へ接続して着信する場合では接続方法が変わります。

＜電話回線へ接続する場合＞

「LINE」と電話回線をモジュラーケーブルで接続します。

バラ線の場合は、スクリューレス端子へ接続して下さい。

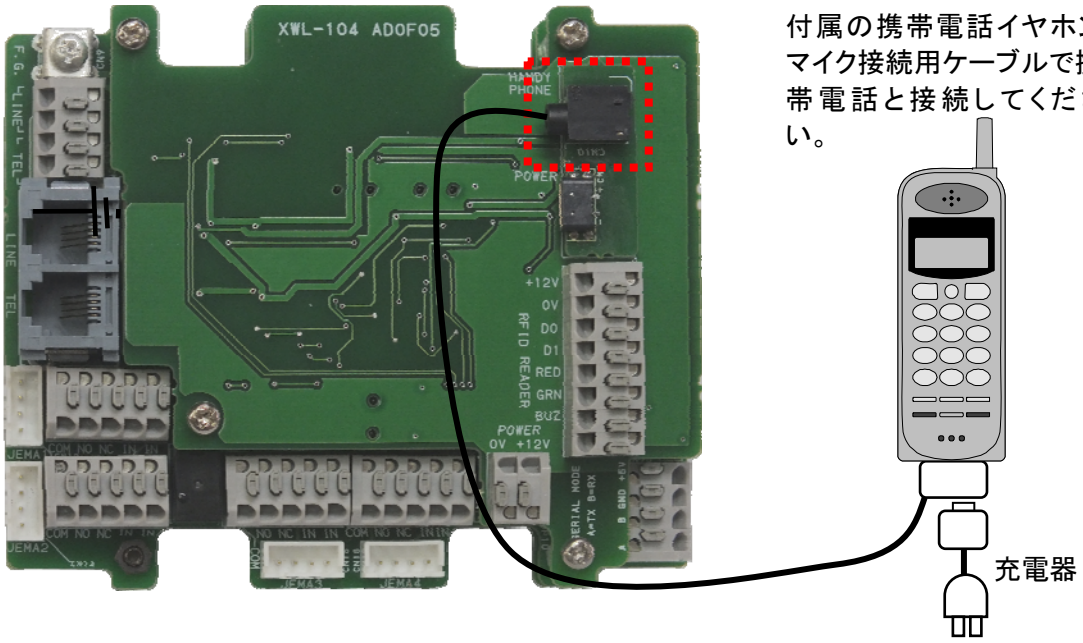


＜着信用携帯電話へ接続する場合＞

携帯電話イヤホンマイク接続用ケーブルを、片方は本装置の HANDY PHONE のコネクタに接続し、もう片方は携帯電話のイヤホンマイク用コネクタに接続してください。

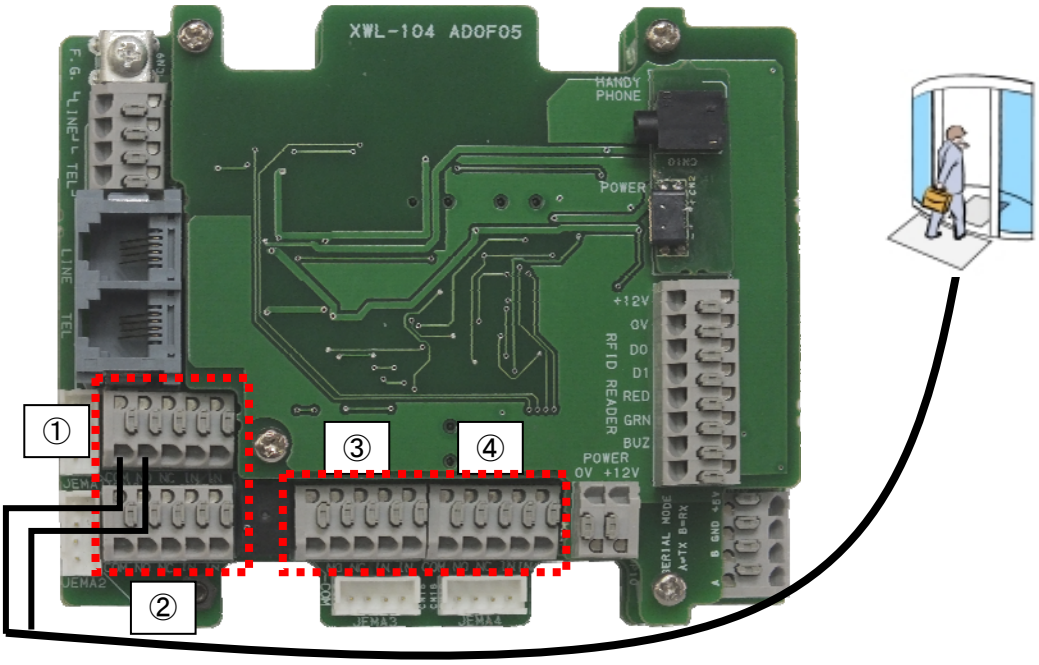
平型端子の場合、同梱の変換コネクタを使用してください。

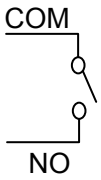
自動着信可能な携帯電話を使用して下さい。



※携帯電話と本装置はなるべく離してください。電波が装置に飛び込むことがあります。

③ 制御機器を、本装置のリレー接点出力に接続します。
「COM」と「NO」が A 接点（ドライ接点）です。

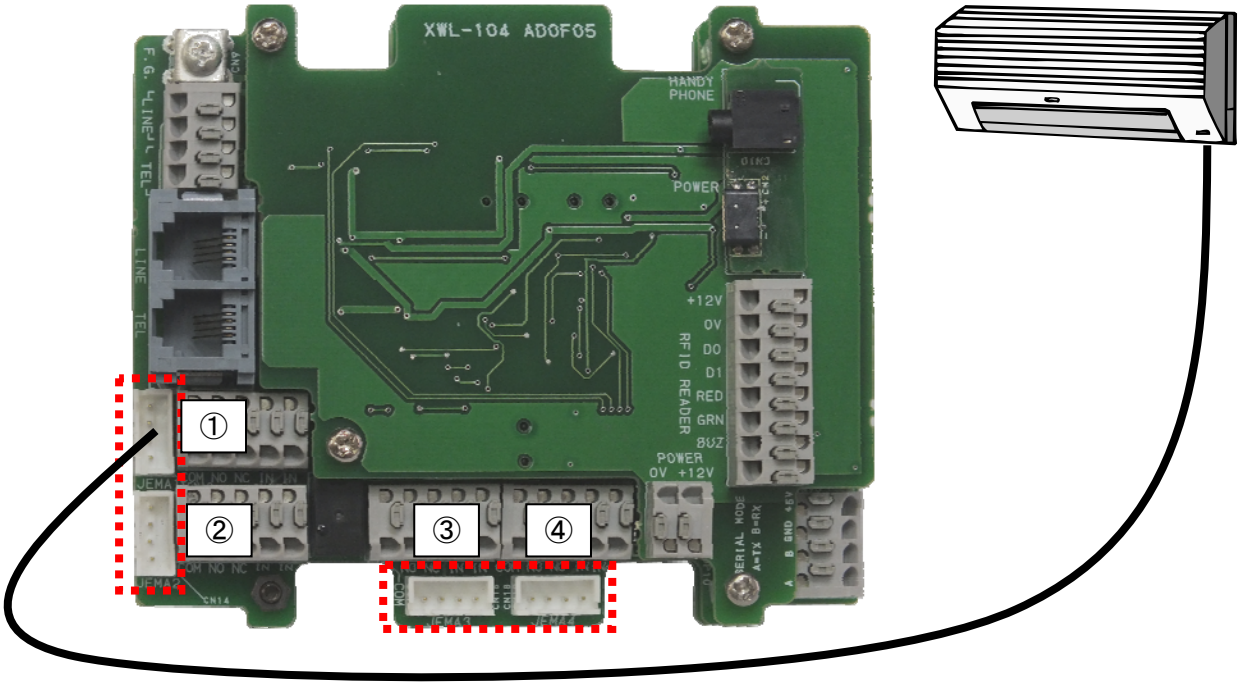




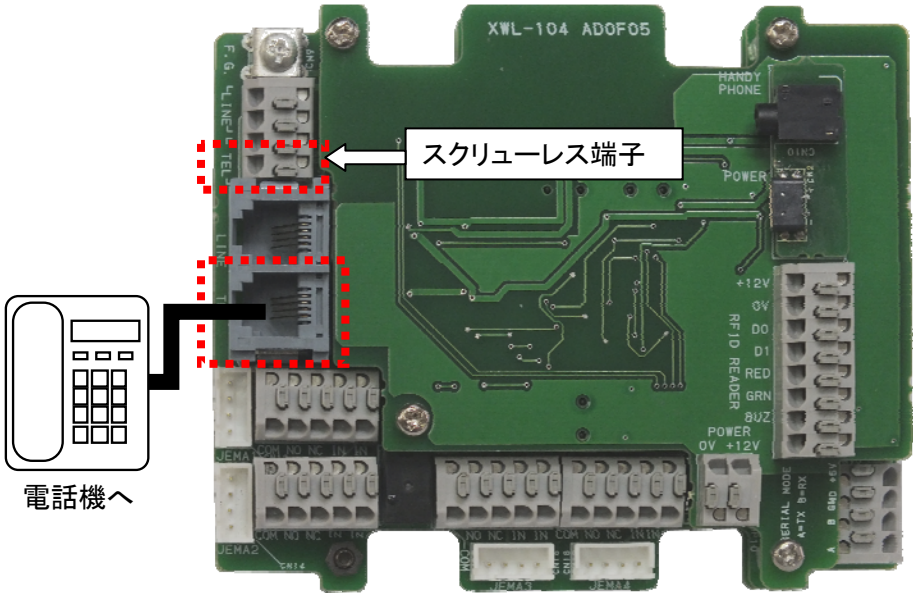
リレー接点出力

COM	NO	NC	IN	IN
リレー 共通	ノーマル オープン	ノーマル コンタクト	センサ 入力	センサ 入力

④ JEMA 端子を有する制御機器の場合は、付属の JEMA 接続用ケーブルで、本装置の JEMA 端子に接続します。



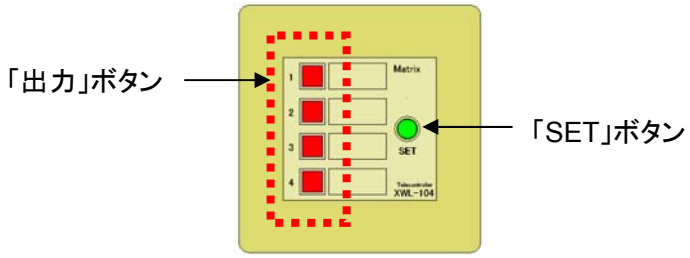
⑤ 電話機を併設する場合は、「TEL」と電話機をモジュラーケーブルで接続します。
バラ線の場合は、スクリューレス端子へ接続して下さい。



⑥ 最後に本装置の電源を入れます。

6.　本装置の操作

本装置が動作中は、「SET」ボタンが点灯します。
遠隔操作中は消灯します。



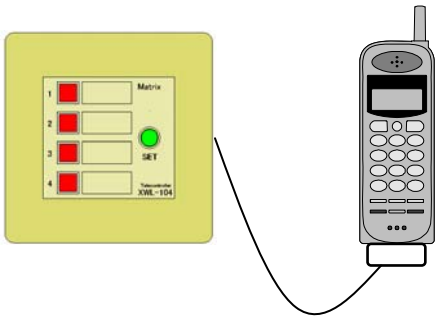
制御機器の出力をオンするには、制御機器が接続されている「出力」ボタンを押します。
（型番：XWL-101 の場合、「1」ボタンのみ）
出力オンされると「出力」ボタンが点灯します。

再度「出力」ボタンを押すと出力オフします。
出力オフされると「出力」ボタンが消灯します。

尚、遠隔操作で出力オン・オフする場合は、「8.遠隔操作方法」を参照して操作して下さい。

※本装置を再起動した場合は、再起動前の制御機器の出力オン・オフ状態に戻ります。
（JEMA 端子は戻りません）

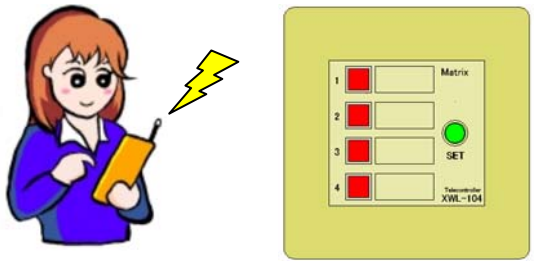
7.　携帯電話で着信する場合の設定



本装置と携帯電話を接続して遠隔操作する場合は、携帯電話の自動着信機能を使用して通話できるようにします。
自動着信機能は、携帯電話のイヤホンマイク用コネクタにケーブルを接続して、自動的に着信に応答する機能で、携帯電話側で設定を行います。
携帯電話によって設定方法は異なりますので、各端末の取扱説明書をご覧ください。

8.　遠隔操作方法

本装置の遠隔操作は、本装置に電話をかけて音声ガイダンスに従って操作します。



※本装置は、電話機のトーン信号（ダイヤルをする毎にピッポッパッのような音がして信号を伝えます）を感知して操作します。
パルス式電話機の場合は[*]を押してトーン信号がでるように切り替えてから操作して下さい。

下記の手順で行って下さい。

① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。

② 着信すると「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
[パスワード][#]を押します。
パスワードの初期設定は「7890」に設定されています。
したがって「7890#」を押します。

パスワードが正しい場合は「ピー」という音が鳴ります
パスワードが間違っている場合は「ブー」という音がなり、「もう一度パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れ、再度パスワードを入力する事ができます。

3 回間違うと電話が切れます。
10秒以上何も入力を行わないと「ブー」という警告音とともに電話が切れます。

③　正しいパスワードを入力すると「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。

④　本装置を遠隔操作するには、操作毎に決められたサービスコードを入力して行います。
接続している機器の出力を制御する場合は、「9.制御機器の出力を制御する」を参照して、操作して下さい。
本装置の動作環境の設定を変更する場合は、「11.設定方法」を参照して操作して下さい。

⑤　各操作が完了すると、再び「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
操作が完了した場合は、電話を切って下さい。
続けて操作する事も可能です。
※電話を切った後に、再び遠隔操作を開始する場合は、1 分程度待ってから電話を掛けて下さい。

9.　制御機器の出力を制御する

本装置で制御しているエアコン、電気錠などの出力の状態の確認、出力オン・オフを遠隔操作で行います。
この操作は、「8.遠隔操作方法」を参照して、「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れてから操作して下さい。

9-1.　制御機器の状態を確認する

制御機器が JEMA 端子の場合は、電源の状態を確認する事ができます。
JEMA 端子以外でも、センサ入力に接続している場合は、センサの状態を確認する事ができます。

サービスコード ： [6][リレー番号][#]

[リレー番号] ：型番：XWL-101 の場合は「1」(61#)
型番：XWL-104 の場合は制御機器の「リレー接点」の番号(61#～64#)
拡張スイッチ(XSB-103)にも対応。その場合は[5]～[16](65#～616#)

出力がオンの時：「センサ入力・オン」の音声ガイダンスが流れます。
出力がオフの時：「センサ入力・オフ」の音声ガイダンスが流れます。

9-2.　制御機器の出力をオフする

制御機器の出力をオフすることができます。

サービスコード ：[8][リレー番号][#]

[リレー番号] ：型番：XWL-101 の場合は「1」(81#)
型番：XWL-104 の場合は制御機器の「リレー接点」の番号(81#～84#)
拡張スイッチ(XSB-103)にも対応。その場合は[5]～[16](85#～816#)

また、全ての制御機器の出力をオフすることができます。
サービスコード :[80][#]

設定完了後に、「リレーオフしました」の音声ガイダンスが流れます。(設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)
制御機器が JEMA 端子の場合は、電源の状態を確認する事ができます。(「9-1.制御機器の状態を確認する」を参照)

9-3. 制御機器の出力をオンする

制御機器の出力をオンすることができます。
サービスコード :[9][リレー番号][#]
[リレー番号] :型番:XWL-101 の場合は「1」(91#)
型番:XWL-104 の場合は制御機器の「リレー接点」の番号(91#～94#)
拡張スイッチ(XSB-103)にも対応。その場合は[5]～[16](95#～916#)

また、全ての制御機器の出力をオンすることができます。
サービスコード :[90][#]

設定完了後に、「リレーオンしました」の音声ガイダンスが流れます。(※設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)
制御機器が JEMA 端子の場合は、電源の状態を確認する事ができます。(「9-1.制御機器の状態を確認する」を参照)

10. 解錠番号を使って制御機器の出力をオンする

解錠番号を使って制御機器の出力をオンする事ができます。(リレー接点 1 に接続された制御機器のみ)
自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。
解錠番号はオンライン設定で操作を行い設定することができます。
お引渡し時に、設定してお渡しすることも可能です。

解錠するには、下記の手順で行って下さい。
① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。
② 着信すると「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
③ 解錠番号を押した後、「#」を押すと制御機器が解錠します。
※パスワードを「9999」に設定して、パスワードの問い合わせを省いている場合は、解錠番号を使って解錠する事ができません。

解錠番号を登録する場合は、「11-12.解錠番号の登録」を参照して行って下さい。

11. 設定方法

本装置の動作環境の設定を変更する事を、オンライン設定といいます。

オンライン設定で変更できるのは下記の項目です。

- パスワード
- 呼び出し時間
- リトライ呼び出し機能
- ラインモニタ機能
- 出力オフ後に自動的にオンするまでの時間
- 出力オン後に自動的にオフするまでの時間
- 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる
- 音声ガイダンスの変更
- 音声ガイダンス遅延時間
- JEMA 端子の設定
- 解錠番号の登録
- 全ての設定を初期化する

11-1. オンライン設定の開始

オンライン設定を開始する方法は2通りあります。

① 遠隔地から電話をかけて設定する方法

② 本装置の「SET」ボタンを押して設定する方法

下記を参照して、オンライン設定を開始して下さい。

＜遠隔地から電話をかけて設定する方法＞

① 「8.遠隔操作方法」を参照して、本装置に電話を掛けて遠隔操作を開始します。

② 「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れてから、オンライン設定のサービスコードを押します。

[0000][#]

オンライン設定を開始する場合は、必ずこのサービスコード（0000#）を入力してから行います。

＜本装置の「SET」ボタンを押して設定する方法＞

① 本装置に電話を掛けます。

② 電話呼出し中に、本装置の「SET」ボタンを長押しすると、本装置が着信し、「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。

オンライン設定が開始したら、設定内容によって、「11-2.パスワードの設定」～「11-13.全ての設定を初期化する」を参照して操作して下さい。

11-2. パスワードの設定

パスワードを変更する事ができます。
初期設定は「7890」が設定されていますが、セキュリティ上変更する事をお勧めします。

サービスコード ：[01][パスワード][#]

（例）パスワードを「4567」に設定する場合

014567#

※パスワードに「9999」を設定すると、遠隔操作を開始する時のパスワードの問い合わせを省く事ができます。

11-3. 呼び出し時間の設定

本装置に電話を掛けてから、自動的に応答するまでの時間を変更します。
初期設定は、6 秒に設定されています。
本装置と電話機を併設している場合に、本装置の応答を遅らせたい時に設定して下さい。
併設した電話機で受話器を取る前に本装置が応答するのを防ぎます。

サービスコード ：[021][呼び出し時間（秒数）][#]

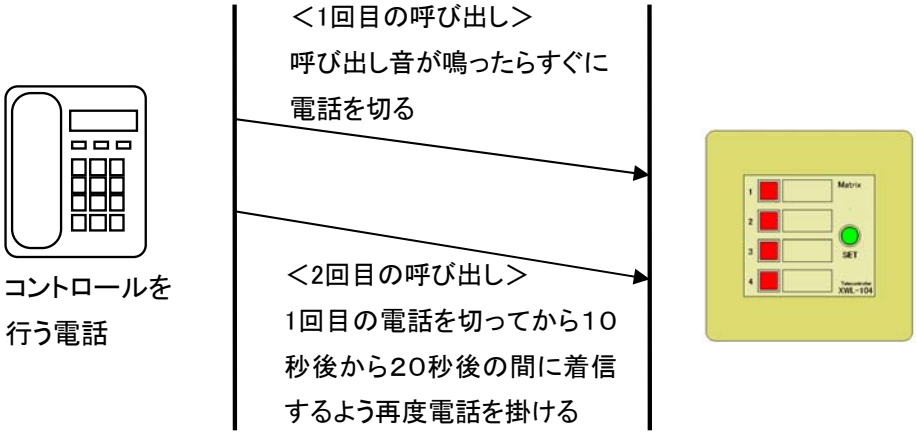
[呼び出し時間（秒数）]：1～99 秒まで設定可能

（例）呼び出し時間を 30 秒に設定する場合

02130#

11-4. リトライ呼び出し機能の設定

リトライ呼び出し機能は、本装置を電話機と併設している場合に設定します。
電話を掛けてすぐに電話を切って、もう一度電話をかけたときに、本装置が応答し遠隔操作が可能となります。
リトライ呼び出し機能を設定すると、通常の呼び出しでは本装置は応答しません。
1 回目の電話を切ってから 10 秒後から 20 秒後の間に 2 回目の電話を掛けて下さい。



サービスコード ：[02][#]

※ナンバーディスプレーサービスを行っている電話回線では使用できません。

リトライ呼び出し機能の設定を解除する場合は、呼び出し時間を設定して下さい。(「11-3.呼び出し時間の設定」を参照)
初期設定に戻す場合は 6 秒に設定して下さい。(0216#)

11-5. ラインモニタ機能の設定

ラインモニタ機能は、本装置をFAXや留守番電話と併設している場合に設定します。
本装置とFAX がつながっている電話番号に電話を掛け、FAXが通信中、**20 秒以内**に電話機から「#」または「*」を 1 秒以上押すと、強制的に本装置が応答する機能です。
サービスコード :[031][#]

※設定を解除する場合
サービスコード :[030][#]

11-6. 出力オン後に自動的にオフするまでの時間を設定

制御機器の出力をオンしてから、自動的にオフするまでの時間を設定することができます。
この機能を設定すると、出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オンした時に自動的に動作します。
電気錠や自動ドアを一時的に出力オンして解錠させるような場合に設定して下さい。
サービスコード :[041][リレー番号][オフまでの時間(秒数)][#]
[リレー番号] :型番:XWL-101 の場合は「1」
型番:XWL-104 の場合は制御機器の「リレー接点」の番号
[オフまでの時間(秒数)]:1～9999 秒まで設定可能
(例)リレー番号 1 の制御機器をオンしてからオフするまでの時間を 5 秒に設定する場合
04115#
※設定を解除する場合
サービスコード :[040][リレー番号][#]

11-7. 出力オフ後に自動的にオンするまでの時間を設定

制御機器の出力をオフしてから、自動的にオンするまでの時間を設定することができます。
この機能を設定すると、出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オフした時に自動的に動作します。
パソコンの出力をオフした後に、自動的に再起動させるような場合に設定して下さい。
サービスコード :[042][リレー番号][オンまでの時間(秒数)][#]
[リレー番号] :型番:XWL-101 の場合は「1」
型番:XWL-104 の場合は制御機器の「リレー接点」の番号
[オンまでの時間(秒数)]:1～9999 秒まで設定可能

(例)リレー番号 1 の制御機器をオフしてからオンするまでの時間を 30 秒に設定する場合

042130#

※設定を解除する場合

サービスコード :[040][リレー番号][#]

11-8. 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定

本装置で着信した時に、サービスコードを入力せずに、自動的に出力オン・オフさせる事ができます。

出力オフする : [06][リレー番号][1][#]

出力オンする : [06][リレー番号][2][#]

[リレー番号] :型番:XWL-101 の場合は「1」

型番:XWL-104 の場合は制御機器の「リレー接点」の番号

(例)リレー番号 1 の制御機器を自動的にオンさせる場合

0612#

※設定を解除する場合(自動的に出力オン・オフしない)

サービスコード : [06][リレー番号][0][#]

さらに、暗証番号を「9999」に設定しておけば、暗証番号もサービスコードも入力せず着信するだけで出力オン・オフを実行する事ができます。

暗証番号を変更する場合は、「11-2.パスワードの設定」を参照して操作して下さい。

自動的に出力オン・オフした後に、電話回線を切断させる事ができます。

※着信用携帯電話を使用している場合は設定できません。

サービスコード : [037][#]

この設定を行った場合、電話回線を切断するまでに 10 秒程度の無音状態があります。

この無音状態の間にサービスコードを入力すれば、通常の遠隔操作も可能となります。

※設定を解除する場合(電話回線の切断をしない)

サービスコード :[038][#]

11-9. 音声ガイダンスの変更

本装置で制御機器の出力オン・オフした時に流れる音声ガイダンスを変更できます。

サービスコード :[07][リレー番号][コード][#] （リレー番号0ですべてのリレー）

↑

コード	操作	音声メッセージ
0	出力オフ	リレーオフしました
	出力オン	リレーオンしました
1	出力オフ	解錠しました
	出力オン	施錠しました
2	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
3	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
4	出力オフ	エアコンオフしました
	出力オン	エアコンオンしました

「コード」の「3」は、**受付電話機能<XWO-101>,マンション用解錠機能<XWM-101>**で有効です。

受付電話機にも音声ガイダンスが流れます。

（例）リレー番号 2 の制御機器に音声ガイダンスの「1（解錠しました・施錠しました）」を設定する場合

0721#

11-10. 音声ガイダンス遅延時間の設定

携帯電話の機種によっては、着信後数秒間、音声ガイダンスが聞こえない場合があります。

その場合は、着信してから音声ガイダンスが始まるまでの時間を遅らせる事ができます。

サービスコード :[022][遅延時間（秒数）][#]

[遅延時間（秒数）] :0～9 秒まで設定可能

（例）遅延時間に「8」を設定する場合

0228#

11-11. JEMA 端子の設定

JEMA 端子（HA 端子）を有効にする事ができます。

サービスコード : [05][リレー番号][1][#]

[リレー番号] :型番：XWL-101 の場合は「1」（0511#）

型番：XWL-104 の場合は制御機器の「リレー接点」の番号（0511#～0541#）

（例）リレー番号 2 の制御機器を JEMA 端子に設定する場合

0521#

※JEMA 端子モードを解除する場合

サービスコード ：[05][リレー番号][0][#]

11-12. 解錠番号の登録

解錠番号を登録すると、本装置にダイヤルして解錠番号を押すと制御機器の出力をオンする事ができます。（リレー接点 1 に接続された制御機器のみ）
自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。

① 解錠番号の 1、2 桁目の設定

サービスコード ： [008050][解錠番号 1 桁目][解錠番号 2 桁目][#]

② 解錠番号の 3、4 桁目の設定

サービスコード ： [008060][解錠番号 3 桁目][解錠番号 4 桁目][#]

（例）解錠番号を「4567」にする場合

00805045#

00806067#

11-13. 全ての設定を初期化する

本装置のオンライン設定の内容を全て初期化する事ができます。
設定内容を間違って変更した為に、本装置の動作が不安定になった場合などに行って下さい。
※正しく設定されている項目も全て初期化されます。

サービスコード ：[0098765][#]

制御機器が JEMA 端子を使用している場合は、初期化後に追加でサービスコードを設定する必要があります。
「11-11.JEMA 端子の設定」を参照して設定して下さい。

下記の型番は、初期化後に追加でサービスコードを設定する必要があります。

- 受付電話機能<型番：XWO-101>
  「XWO-101 取扱説明書<受付電話機能編>」の「4.受付電話機能の初期設定」を参照して設定して下さい。
- マンション用解錠機能<型番：XWM-101>
  「XWM-101 取扱説明書<マンション用解錠機能編>」の「5.マンション用解錠機能の初期設定」を参照して設定して下さい。
  設定を初期化すると、登録されている室番号・電話番号も消去されます。ご注意下さい。

12. サービスコード一覧

遠隔操作で入力するサービスコードの一覧を下記に表示します。
尚、サービスコードで[リレー番号]を入力する場合は、型番によって入力する番号が変わります。
型番:XWL-101 の場合は[リレー番号]に「1」を入力して下さい。
型番:XWL-104 の場合は[リレー番号]に制御機器の「リレー接点」の番号を入力して下さい。
拡張スイッチ(XSB-103)の場合は[リレー番号]に[5]～[16]を入力して下さい。

12-1. 制御項目一覧

詳細については、「9.制御機器の出力を制御する」を参照して下さい。

制御項目	サービスコード	内容
パスワードの入力	[パスワード][#]	初期値:7890#
制御機器の出力の状態確認	[6][リレー番号][#]	出力の状態により音声ガイダンスが流れます。 出力オンの時:「センサ入力・オン」 出力オフの時:「センサ入力・オフ」
制御機器の出力をオフする	[8][リレー番号][#]	
全ての制御機器の出力をオフする	[80][#]	
制御機器の出力をオンする	[9][リレー番号][#]	
全ての制御機器の出力をオンする	[90][#]	
解錠番号の入力	[解錠番号][#]	パスワードの入力無しで制御機器の出力をオンする(リレー接点 1 に接続されている制御機器のみ)

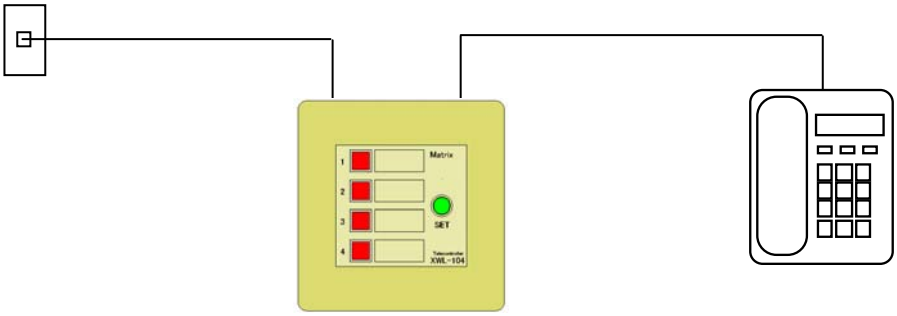
12-2. 設定項目一覧

詳細については、「11.設定方法」を参照して下さい。

設定項目	サービスコード	内容
オンライン設定開始	[0000][#]	
パスワードの設定	[01][パスワード][#]	初期値:7890 設定可能範囲:1～9999 パスワードに 9999 を設定した場合は、遠隔操作開始時のパスワードの問い合わせを省略できます。
呼び出し時間の設定	[021][呼び出し時間][#]	初期値:6 秒 設定可能範囲:1～99 秒

設定項目	サービスコード	内容	
リトライ呼び出し機能の設定	[02][#]	リトライ呼び出し解除:[呼び出し時間の設定]を行う	
ラインモニタ機能の設定	[031][#]	解除:[030][#]	
出力オン後に自動的にオフするまでの時間を設定	[041][リレー番号][オフまでの時間][#]	[オフまでの時間]:秒数 解除:[040][リレー番号][#]	
出力オフ後に自動的にオンするまでの時間を設定	[042][リレー番号][オンまでの時間][#]	[オンまでの時間]:秒数 解除:[040][リレー番号][#]	
着信した時に自動的に出力オン・オフさせる設定	[06][リレー番号][コード][#]	[コード]設定値	
		0	自動的に出力オン・オフしない（初期値）
		1	自動的に出力オフする
		2	自動的に出力オンする
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断する	[037][#]		
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断しない	[038][#]		
音声ガイダンスの変更	[07][リレー番号][コード][#]	[リレー番号]:0 で全てのリレー	
		[コード]設定値	
		0	リレーオン・オフしました（初期値）
		1	解錠・施錠しました
		2	施錠・解錠しました
		3	施錠・解錠しました （受付電話機能<XWO-101>, マンション用解錠機能 <XWM-101>に対応）
		4	エアコンオン・オフしました
音声ガイダンス遅延時間	[022][遅延時間（秒数）][#]	初期値:0 秒 設定可能範囲:0～9 秒	
JEMA端子モード設定	[05][リレー番号][コード][#]	[コード]設定値	
		0	通常
		1	JEMA 端子モード
解錠番号の登録	[008050][解錠番号 1 桁目][解錠番号 2 桁目]		
	[008060][解錠番号 3 桁目][解錠番号 4 桁目]		
全ての設定を初期化する	[0098765][#]		

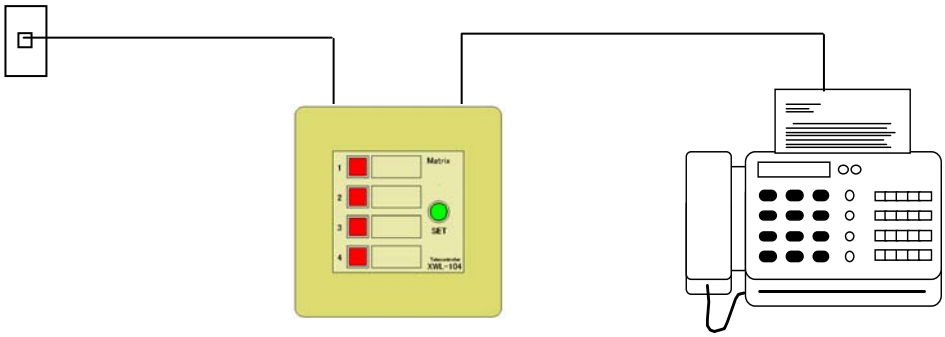
13. 電話機を併設する場合の設定



初期設定では、電話を掛けてから本装置が自動的に応答するまでの時間が 6 秒に設定されています。
その為、電話機で通話したい場合も、6 秒以内に受話器を取らなければ本装置が応答してしまう為、呼び出し時間を長くする必要があります。
呼び出し時間を変更する場合は、下記の手順で設定して下さい。
①「11-1.オンライン設定の開始」を参照して、オンライン設定を開始します。
②「11-3.呼び出し時間の設定」を参照して、呼び出し時間を変更します。

また、通常の呼び出しでは本装置が応答せず、電話を掛けてすぐに電話を切って、もう一度電話をかけた時にだけ本装置が着信する、リトライ呼び出し機能も用意されています。
※ナンバーディスプレーサービスを行っている電話回線では使用できません。
リトライ呼び出し機能を設定する場合は、下記の手順で設定して下さい。
①「11-1.オンライン設定の開始」を参照して、オンライン設定を開始します。
②「11-4.リトライ呼び出し機能の設定」を参照して、リトライ呼び出し機能を設定します。

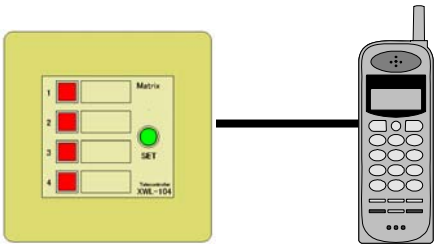
14. FAX や留守番電話を併設する場合の設定



初期設定では、併設したFAX や留守番電話が本装置より先に着信した場合は、本装置で操作する事ができません。
ラインモニタ機能を設定すれば、FAXや留守番電話が応答中に、強制的に本装置に切り替える事が出来ます。
ラインモニタ機能を設定する場合は、下記の手順で設定を変更して下さい。
①「11-1.オンライン設定の開始」を参照して、オンライン設定を開始します。
②「11-5.ラインモニタ機能の設定」を参照して、ラインモニタ機能を設定する。

15. 携帯電話での制御

本装置と携帯電話を接続して使用する場合には、便利な機能や注意点があります。



15-1. 便利な機能

携帯電話のベルを鳴らしただけで、着信する前に本装置を自動的に動作させる事ができます。その為、着信前に電話を切ると通話料がかかりません。（一部機種のみ対応可能）
着信せずに本装置を自動的に動作させるには、下記の設定が必要となります。

- オンライン設定を開始する（「11-1.オンライン設定の開始」を参照）
- パスワードに「9999」を設定して、問い合わせをしないようにする（「11-2.パスワードの設定」を参照）
- 着信した時に、制御機器の出力を自動的にオン・オフさせるように設定する（「11-8.着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定」を参照）

15-2. 注意点

- AU の携帯電話の場合、トーン信号が通りにくいことがあります。
  この場合[1][2][3][4][5][6]は通りづらく[7][8][9][0][*][#]は通りやすいので
  パスワードは[7][8][9][0]を使用して番号を設定してください。
  また操作は[1]を[*]に置き換えて操作してください。
  例えば、リレー1 の出力をオンするのであれば、通常は[91#]ですが[9*#]を押します。
- イヤホンマイクからの音量が過大・過小であると正常に動作できないことがあります。
  音量は中間程度にしてください。
- 発信側、着信側とも同じ携帯電話会社の場合、発信側からトーン信号が出ないことがあります。（特に DOCOMO の携帯電話の場合）
  これは通信網が、同じ携帯電話会社同士の場合、トーン信号は不要と識別しているためです。
  したがって、この場合は、通常の通話モードで無くテレビ電話モードで通話してください。
  または、発信側、着信側とも同じ携帯電話会社という組み合わせは避け、着信側を別の通信会社の電話にするなどしてトーン信号が出るようにしてください。
- 本装置はイヤホンマイクの電圧を監視して着信を感知しています。
  多くの携帯電話では着信時にマイクへ電圧を供給しますが、まれにそうでないものがあります。この場合は本装置の受信装置としては使用できませんので、携帯電話を変更して下さい。

また、パナソニックなどの一部機種では常にこのマイク端子に電圧が出ている場合があります。
このような場合は着信後、一度[#]を押してください。

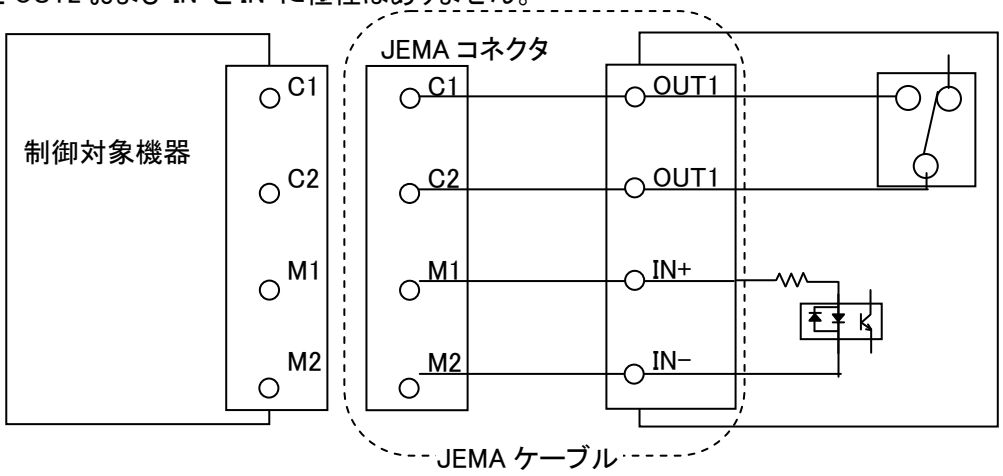
- 携帯電話の機種によっては、着信後数秒間、音声ガイダンスが聞こえない場合があります。
  その場合は、着信してから音声ガイダンスが始まるまでの時間を遅らせる事ができます。
  「11-10.音声ガイダンス遅延時間の設定」を参照して設定して下さい。

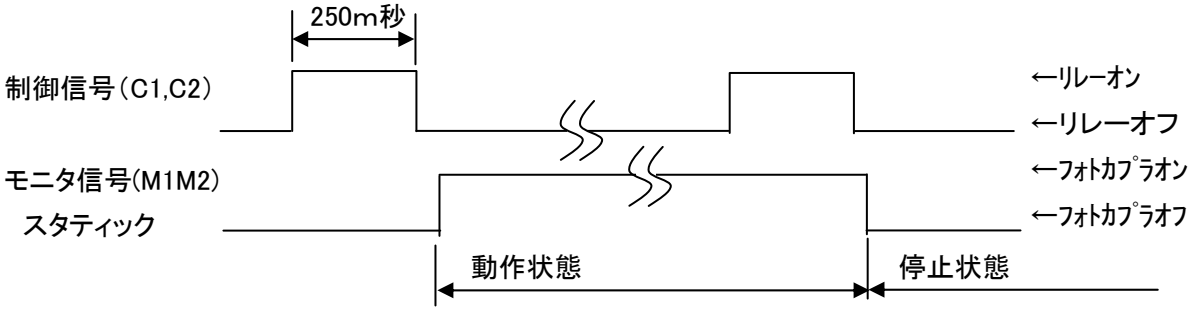
16. JEMA 機能

JEMA 端子とは、制御機器のオン・オフをコントロールする端子で、日本電子工業会でその規格が決められています。
この端子は HA 端子とも呼ばれます。
この機能を有効にすると以下のように動作します。

- 制御機器の電源の状態をモニタし、その状況に応じてパルスを出して、出力オン・オフを行います。
- 出力ボタンの LED は機器からのモニタ信号に従い点灯消灯を行います。
- JEMA端子を使用する場合は、オンライン設定で JEMA 端子を有効に設定します。
  「11-11.JEMA 端子の設定」を参照して下さい。

OUT1 と OUT2 および IN+と IN-に極性はありません。





JEMA 端子は別名 HA 端子、JEM1427 端子とも呼ばれています。ルームエアコン、給湯機（風呂）、FF 暖房、床暖房、電動開閉機器、電気錠、電気温水器、照明器具などに使用されています。カタログに上記の端子名があれば制御可能です。
さらに詳しい情報については弊社ホームページ
http://www.mtrx.jp/INFORMATION/JEMA.htm をご覧ください。

17. 仕様一覧

項目	内容	備考
出力電圧	AC100V （50Hz 60Hz）	
消費電力	最大3W	
リレー接点出力端子	4	
リレー接点出力定格	最大24V 1A	絶対に定格を超えないでください。メークブレークはジャンパで変更可
センサ入力端子	4	
センサ入力定格	最大 24V	回路図参照
設定方式	電話機から音声ガイダンスに従いDTMF（トーン）信号で設定	
制御方式	電話回線から DTMF（トーン）信号で制御	音声ガイダンスあり
使用環境	温度0～40℃ （湿度20～80%）	ただし結露なきこと
サイズ（W x H x D）	117 x 120 x 50mm	
質量	440g	オプション含まず

18. 使用上の注意

- 本装置を人の生命や、経済的に重大な損失を与える可能性のある機器へ使用する事はおやめください。
- リレー接点出力の最大定格は24V 1A です。
  これを超える装置又は回路への接続はおやめください。
  最悪装置の発煙、発火を引き起こします。
- 本装置は室内用です。
  屋外および日光が直接当たる所では使用できません。
- 本装置は通常の電子回路で構成されています。
  場合によっては故障する場合もあります。
  従って本装置の故障および不具合によって発生したいかなる責務も当社はその責を免れるものとします。

マトリックス電子株式会社 制御機器事業部
フリーダイヤル:0120-967-232
携帯電話・PHS からは 050-3735-5497
E-mail： mail@mtrx.jp
ホームページ： www.mtrx.jp